イベント＆コンベンションカレンダー

イベント　コンベンション

※イベント日程等は変更になる場合がございます。

10月 October	■9月～11月	HIROSAKI RINGO EXPOSITION～弘前りんご博覧会　弘前市内各所
	■9月27日(土)～11月30日(日)	りんごカフェめぐり 2014　弘前市内各所
	■2日(木)	りんご生産者フォーラム　弘前商工会議所２階大ホール
	■4日(土)	ひろさき合コンリーグ秋季大会　鍛冶町・土手町周辺の飲食店
	■5日(日)	第12回 弘前・白神アップルマラソン　追手門広場
	■8日(水)	青森県料理飲食業生活衛生同業組合　第66回年次大会　[ホテルニューキャッスル/県内]
	■12日(日)	ひろさきりんごハロウィン2014　弘前市まちなか情報センターほか
	■12日(日)・13日（月・祝）	弘前スポレク祭　弘前市運動公園
	■14日(火)	月に一度の土手町平日フェスCHROSS CROSS -BREAK&POP-　弘前市まちなか情報センター
	■15日(水)・16日(木)	第57回全国自動車教育研究大会　[ベストウェスタンホテルニューシティ弘前/東日本100]
	■17日(金)～19日(日)	2014 津軽の食と産業まつり　弘前運動公園内
	■17日(金)～11月9日(日)	第53回 弘前城菊と紅葉まつり　弘前公園（メイン会場弘前城植物園）
	■18日(土)～19日(日)	Proposing a New music Education View Through Non-European Sound Practiess [弘前大学創立50周年記念会館/国際50]
	■19日(日)	追手門広場フリースタイルマーケット2014　追手門広場
	■24日(金)～26日(日)	第14回 弘前大学総合文化祭　弘前大学
	■29日(水)～11月1日(土)	日本地熱学会平成26年学術講演会　[弘前大学創立50周年記念会館/全国200]
11月 November	■3日(月・祝)	古都ひろさき着物de散歩　弘前公園周辺
	■8日(土)～10日(月)	全国大学国語国文学会　[弘前大学創立50周年記念会館及び弘前大学教育学部/全国200]
	■11日(火)	月に一度の土手町平日フェスCHROSS　CROSS-LOCK & HIPHOP-　弘前市まちなか情報センター
	■22日(土)	CHROSS　CROSS特別編 ～北の国から東北大会～　弘前市まちなか情報センター
	■23日(日)～24日(月・祝)	第16回米・食味分析鑑定コンクール国際大会　[田舎館村/国際]
	■29日(土)～H27年1月18日(日)	弘前市立博物館　企画展３ つがる考現学　弘前市立博物館
	■29日(土)	公開講座「リンゴを科学する」 JAつがる弘前本店３階ホール
	■30日(日)	津軽ひろさき検定　第7回中級（おべ博士検定）試験　弘前市立観光館ほか
12月 December	■1日(月)～H27年2月28日(土)	弘前エレクトリカルファンタジー 冬を彩る光のまちづくり事業　弘前市内各所
	■3日(水)	りんご生産者フォーラム　弘前商工会議所２階大ホール
	■6日(土)～7日(日)	りんご品評会・展示会　弘果・弘前中央青果
	■9日(火)	月に一度の土手町平日フェス CHROSS CROSS-CONTEST & DANCE BATTLE- 弘前市まちなか情報センター
	■13日(土)	The 津軽三味線 2014　弘前市民会館 大ホール
	■18日(木)～19日(金)	第23回微粒化シンポジウム　[弘前大学創立50周年記念会館/全国150]
	■21日(日)	第10回「話してみよう韓国語」青森大会　ヒロロ４階弘前市民文化交流館

※この他のイベント情報は当協会ホームページをご参照下さい。**http://www.hirosaki-kanko.or.jp**

広域おすすめ情報 第6弾!!

～実りの秋を堪能！「ふじさき秋まつり」～

広域連携している地域からおすすめ情報を紹介してもらうシリーズ、6回目は藤崎町企画財政課からの情報です。

藤崎町の二大特産品である「米」と「りんご」の収穫感謝や文化芸能発表、町民の健康づくりをテーマとした秋の大祭「ふじさき秋まつり」が今年も2日間にわたって開催されます。

特産品の「つがるロマン」を使った日本一の「ジャンボおにぎり」づくりや「ジャンボアップルパイ」づくり、当町発祥のりんご「ふじ」のPRイベント、そのほか、文化展示や芸能発表、出店・農産物直売コーナー、ステージイベント、こどもの広場など様々な催しが予定されており、藤崎町の魅力を堪能できる内容となっていますので、皆さまぜひお越しください。

また、秋になるとたわわに実ったりんごによって真っ赤に染まったりんご園と美しい岩木山を一緒に楽しむことができる唐糸御前公園など、藤崎町には多くの観光スポットがありますので、お近くにおいでの際はぜひお立ち寄りください。

■日 時
11月23日(日・祝)、24日(月・振休)
午前10時～午後３時

■場 所
藤崎町役場周辺
（スポーツプラザ藤崎、藤崎町文化センター、役場前駐車場等）

ジャンボおにぎり

唐糸御前公園

〈お問い合わせ〉
藤崎町企画財政課
TEL 0172-75-3111（内線2222）
FAX 0172-75-2515
ホームページ
http://www.town.fujisaki.lg.jp/

イベントピックアップ1

弘前市立観光館に「たか丸くん顔出しパネル」登場

観光地にいくと、顔出しパネルで記念撮影という方も多いと思いますが、ついに観光館にも記念撮影用の顔出しパネルができました。かわいい赤いりんごと青いりんご、そして我らが「たか丸くん」と記念の一枚が撮れます！

お近くにお越しの際は、ぜひ素敵な一枚を!!

イベントピックアップ2

本格シーズン到来！りんごもぎとり体験

10月に入ると、「トキ」、「ひろさきふじ」、「ジョナゴールド」、「北斗」など様々なりんごが実ります。りんご公園スタッフがご案内しますので、初めての方でもお楽しみいただけます。実際に聞いて、見て、触れて、味わってみてください！

期間：8/1～11月中旬
時間：9：00～16：20
※20分ごとにご案内しております。
料金：1kg 200円

イベントピックアップ3

りんご満喫ツアー

生産量日本一を誇る、弘前りんご。たわわに実ったりんごもぎ体験はもちろん、普段はめったに見ることのできないりんご選果場の見学やいろんな種類の採れたてりんごの食べくらべ、アップルパイの食べくらべなど、文字通り！ りんご満喫ツアーです。

日 時：10/4・18・25、11/2 **13:00～16:30**
予 約：実施日の7日前まで
参加料：お一人様 6,500円
定 員：毎回18名（最少催行6名）
集合場：弘前市立観光館1Fインフォメーション
問合せ：事務局　TEL 0172-35-3131

弘前感交劇場

HAVE A WONDERFUL FEELING WITH YOU

ステージだより

HIROSAKI STAGE NEWS

Vol.28
2014.10.01
秋号

■発行
公益社団法人 弘前観光コンベンション協会
〒036-8588　弘前市下白銀町２－１
TEL.0172-35-3131　FAX.0172-35-3132
URL http://www.hirosaki-kanko.or.jp/

大石武学流庭園
（国指定名勝「盛美園」）

いま全国で注目「大石武学流庭園」

青森県文化財保護審査会 会長　**今井二三夫**

日本庭園には、江戸時代に始まったという夢想流・嵯峨流・玄丹流・遠州流など多くの流派がありますが、今日、その多くの流派は殆ど実態を失い、流派の名称のついた庭園のみが伝えられているといった現状です。

そんな中、津軽で誕生し、独自の発展を遂げた「大石武学流」だけが、現在も流儀や築庭技法を面々と受け継いでいるのです。

全国の諸流派が次々消滅する中、なぜ大石武学流だけが存続できるのでしょうか？　それは流派を継承する宗家（師匠）決定が現宗家の生前中に後継者指名する相伝授受であること、そして何よりも流派存続の決め手となったのは、この大石武学流の流儀で作られる庭園は、規模の大小、池の水の有無等に関係なく、庭を造るときの決め事が、庭師でなくとも誰にでも極めて分かり易いのです。

それは、お座敷の縁側下から庭の方に向かって、飛び石という平らで小ぶりな石を、1列・2列あるいは3列に並べます。そして、庭の中央にまっすぐ延びる飛び石列の一番奥には、ひときわ大きく立派な平らな石を置きます。「礼拝石（らいはいせき）」と呼ぶ石で、武学流庭園の中で最も大切な石とされます。余談ですが、この礼拝石は、記念写真などの撮影場所に最適なのですが、神様が宿る石とされますので、決して上に上がったりしてはいけません。ご注意を。

そしていま一つの決め事に野夜燈（やどう）という自然石で作った石灯籠があるかどうかです。どうですか分かり易いでしょう。これさえ見極められれば、あなたも大石武学流庭園のおべ様間違いなしです。京都の「無隣庵」と「青風荘」と共に明治の日本三大名園といわれる「盛美園」をはじめ、「瑞楽園」そして来年から一般公開が始まる黒石「金平成園」といった国指定名勝庭園をはじめ、津軽地方には、いまなお200を越える武学流の名園が残されています。

この大石武学流庭園が、流儀に基づく全国唯一の庭園として、文化庁をはじめ国内外の庭園愛好家の間でいま注目を浴びています。文化庁では、昨年から、津軽一円の大石武学流庭園調査に着手、これに連動する形で、弘前市でも今年から市内の武学流庭園現況調査が開始されています。近い将来、大石武学流庭園は、奈良時代から面々と受け継がれてきた日本庭園の中でも特色ある地方庭園の代表例として認識されることになろうかと思います。楽しみですね。

礼拝石

野夜燈

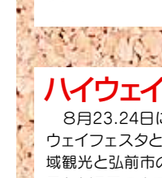
弘前城菊と紅葉まつり

今年の菊人形場面のテーマは「軍師官兵衛」。「毛利来襲」「本能寺の変」「囚われの軍師」等、６場面を再現する他、着付け実演コーナーを設けます。また、りんごをテーマにした会場装飾やイベント、アップルパイが食べられる喫茶コーナーを設け、弘前りんご博覧会事業と連携して誘客促進を図ります。

さらに、今年も「もみじと桜の紅葉」に特別照明を行い、夜の弘前公園をPRします。期間中は、11月３日(月祝)に行われる「第２回古都ひろさき着物de散策」の他、多数のイベントでお客様をお迎えします。期間中何度でもお越しいただき、深まりゆく秋を感じていただければと思います。

桜の特別ライトアップ

会　期　平成26年10月17日㈮～11月９日㈰　24日間
会　場　弘前公園（メイン会場 弘前城植物園）
入場料　個人　大人(高校生以上)310円　小人(小･中学生)100円
　　団体　大人(高校生以上)250円　小人(小･中学生) 80円
＊弘前城史料館･植物園･藤田記念庭園共通券
　　個人　大人(高校生以上)510円　小人(小･中学生)160円
　　団体　大人(高校生以上)460円　小人(小･中学生)130円



弘前りんご博覧会2014 主なイベント紹介

「りんご博覧会 2013」で建国が宣言された「りんご王国」。
大きいお山"イワキサン"のふもとに広がるヒロサキ地方は四季があり、自然豊かなところ。そんな中に「りんご王国」はあります。「りんご王国」では秋になると、りんご王国の王さまの命を受け、りんごの実りに感謝し、りんご王国の繁栄を国民みんなでお祝いします。
音楽祭やパレード、おいしいたべもの、てづくり品、スポーツやアートなど。
まちなかがワイワイにぎやかにりんご色に染まります。

イベント	とき	ところ・内容
まちなかりんご装飾	博覧会期間中実施	りんごフラッグ、看板など、街中をりんごイメージで装飾。
津軽民謡りんご節世界大会	9月27日(土)	かだれ横丁多目的ホール
Cross.S －クロスエス－	9月27日・28日	中心市街地各所
りんごカフェめぐり 2014	9月27日～ 11月30日	中心市街地各所
2014 カルチュアロード	9月28日(日)	土手町
りんご生産者フォーラム	10月2日、12月3日	弘前商工会議所2階大ホール
弘前・白神アップルマラソン	10月5日(日)	市立観光館追手門広場
ひろさきりんごハロウィン	10月12日(日)	中心市街地各所
津軽の食と産業まつり	10月17日～ 19日	克雪トレーニングセンター(運動公園内)
弘前城菊と紅葉まつり	10月17日～ 11月9日	弘前公園
はこだてスイーツフェスタ	10月24日～ 26日	函館市棒二森屋催事場
公開講座「リンゴを科学する」	11月29日(土)	JAつがる弘前本店3階ホール
りんご品評会・展示	12月6日・7日	弘果弘前中央青果

りんごハロウィン

活動レポート

弘前ねぷたまつり報告

平成26年度の弘前ねぷたまつりは昨年より2団体増の82団体が出陣し、合計130万人の人出となりました。また審査結果は最高賞である青森県知事賞「扇の部」を東地区町会連合会ぶねたが受賞し、「組の部」は西地区ねぶた親交会が5年連続の受賞となりました。

8月5日のまつり運行中に事故が発生し、6日以降の運行がすべて中止となりました。主催４団体はぶねた運行参加団体を交えて十分な協議をし、今後の事故再発防止に尽力して参ります。

観光ボランティアガイド東北･北海道ブロック大会

9月4･5日、ホテルニューキャッスルをメイン会場に、「第1回観光ボランティアガイド東北･北海道ブロック大会in弘前～みんなで創ろう！おもてなし北日本スタイル～」が開催されました。平成22年まで行われていた「地域紹介・観光ボランティアガイド全国大会」(主催：日本観光振興協会)の廃止により、『研修・交流の場が減ったので、新たな機会を設けてほしい』との各地のガイド団体からの声に応えての開催でした。第1回目のブロック大会でしたが、東北6県･北海道の各地から145名の参加があり、よねちゃんこと米坂恵子氏（お山のおもしえ学校）による基調講演や、４つのテーマに分かれての分科会、九戸眞樹氏がコーディネーターを務める全体会議など、熱心にメモをとりながら参加されていました。

ハイウェイフェスタとうほく2014

8月23.24日に仙台市勾当台公園広場で開催された「ハイウェイフェスタとうほく2014」に今年も参加しました。津軽広域観光と弘前市の特産であるりんご商品をメインにPRし、両日とも猛暑の中での開催となりましたが、延べ5万人の方に来場していただきました。津軽広域観光として展開したPRブースでは、藤崎町･田舎館村･秋田県大館市･小坂町の皆さんと協力し、ご当地キャラやレールバイクの試乗などでPRしました。

はこだてグルメサーカス2014

9月6･7日の二日間、函館市大門通りにて「はこだてグルメサーカス2014」が開催されました。このイベントは、平成27年度北海道新幹線新函館北斗駅開業、函館市との広域観光の推進と、観光･物産ＰＲを目的として開催し、今回で三回目となります。

「お城と桜とりんごの街」弘前市ブースでは、りんごやアップルパイなどを販売し、弘前城ミス桜･工藤彩華さんと弘前市マスコットキャラクターたか丸くんの観光ＰＲステージ、お菓子の振る舞いを行い、FMいるかのラジオ出演などで弘前市の観光･物産をPRしてきました。

けやど 会員の広場　会員のお店をご紹介するコーナーです。

会員のお店紹介

shop 1 青森県図書教育用品㈱

県内で唯一書籍や教材の卸･小売･通販を行う総合商社です。学校教材を柱に観光コンベンション協会発行の書籍の販売、白神書院ブランドでの出版事業も手がけ、「青森の地酒」「弘前の和菓子」などを刊行してきました。学校教育はもとより、生涯学習支援の一環として漢字能力検定や英語検定、ひろさき検定なども扱い、公開試験会場の設営も行っています。

■弘前市外崎3丁目3-22
■☎ 0172(27)8811
■FAX 0172(27)3214
■HP http//www.aomoritosyo.co.jp

shop 2 ㈱クリンテック

一般家庭向けクリーニングとホテル、老人施設・病院向け業務クリーニング等、お客様に喜ばれ支持頂いております。その中で常識を超える爽快感　ドライを超えた水洗い「プラチナウォッシュ」‼水洗い出来ないとされているウール・シルク製品等を水洗いします。
電話１本ご自宅へお伺い致します。この機会に是非ご利用下さい。

■弘前市大久保字西田369
■☎ 0172(33)7241
■FAX 0172(33)9266
■HP http：//www.cle-tech.com
■店舗
エリーゼ：桔梗野本店･岩木店
洗 濯 屋：佐藤長桔梗野店･城南店･松原店･西弘店･常盤店
ｺｲﾝﾗﾝﾄﾞﾘｰ：桔梗野店･田園店

shop 3 (公社)弘前青年会議所

公益社団法人弘前青年会議所は、1951年1月に創立し今年64年目を迎えます。現在会員数68名にて「明るい豊かな社会」の実現に向けて日々挑戦し様々な事業に取組んでいます。本年は、ちびっ子ねぷたのお通りだいや平成まんじ札、Cross.Sや環世界自然遺産サミット、青少年事業や復興支援などの事業を開催しております。随時会員募集中です。事務局までお問合せ下さい。

■弘前市東長町47-2
■☎0172(34)4458
■FAX 0172(34)4497
■HP http://www.hirosaki-jc.com/
■E-mail：jcjcjc@hirosaki-jc.com

shop 4 ㈲リスクワークあおもり

弘前・津軽の特産品であるりんごを使用した加工品をはじめ様々な伝統工芸品や民芸品、さらには、青森県内の特産加工品や観光土産品などを広く取り揃えております。また、観光客の方はもちろん地元の皆様にもお気軽にご利用いただけるよう、弘前駅近くの「ベストウェスタンホテルニューシティ弘前」内でアンテナショップ「津軽プラザ」を運営しております。

■弘前市和徳町284
（アンテナショップ：弘前市大町1-1-2）
■☎ 0172(88)5804
■FAX 0172(88)5979
■営業時間　8:30～19:00

shop 5 不二やホテル

「こころが…ほっ」としていただける源泉100%掛け流しの不二やホテルです。四季の風を肌に感じる解放的な露天風呂・厳選素材を使用したお料理、大好評の青森県地鶏・青森シャモロックの釜飯をぜひご賞味下さい。スタンダードプランは、一泊二食税込11,490円、その他各プラン、特別料理等ございます。詳細は弊社HP又はお電話でお問合せ下さい。

■南津軽郡大鰐町大字蔵館字川原田63
■☎0172(48)3221
■FAX 0172(47)5085
■P／80台
■HP http://fujiya-hotel.com/

shop 6 銀水食堂

土手町を一本入った新鍛冶町にある「銀水食堂」です。昭和28年(1953年)創業の老舗食堂。メニューは創業当時からほとんど変わりなく、煮干しだしの効いた中華そばが人気です。その人気の中華そばと炒飯のセット「半チャーラーメン」、昔ながらの黄色いカレーのセット「半カレーラーメン」も大変好評です。是非お立ち寄りください。

■弘前市新鍛冶町15-2
■☎0172(36)1045
■営業時間　11:00 ～ 18:30
■休／不定休
■P／有4台

シリーズ「お城が動く！」

弘前市は、弘前城本丸東面石垣の解体修理に先立ち、石垣の構造について情報収集するために、発掘調査を行っています。本丸東面の石垣は、慶長16年の弘前城築城時には、一部に築かれていない場所がありましたが、約80年後に築造を再開、元禄12年に完成しています。石垣の膨らみは、元禄期に築造された箇所において最も顕著であり、約1m張り出しています。

現段階では、元禄の石垣築造の際、当時の本丸の際から内濠に続く急斜面を黒土で埋め立てていたことが明らかになりました。慶長の築城時の盛土は赤茶色の粘土で、元禄の盛土と様相が異なります。また、石垣の裏には「裏込石」と呼ばれる20～30㎝大の玉石が多く詰められていますが、慶長の石垣では幅約2mの範囲で詰められていたのに対し、元禄の石垣では幅1m弱であることも判明しました。このような石垣の構造上の特徴が、石垣の膨らみの原因であるのかどうか、更に調査を進めており、11月頃から濠の埋め立てを開始する予定です。

ひろさき歴史探検ツアー